

# 岩手県職労

月2回刊=1611号  
2022年10月15日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所  
盛岡市内丸10番1号  
岩手県庁内  
岩手県職員労働組合  
印刷所  
盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジョー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

## 地公共闘 人事委員長交渉

# 月例給・一時金引上げ勧告へ

## 会計年度任用職員…期末手当での改定を言及／通勤手当…手当額改定へ

岩手県地方公務員共闘会議（議長…佐藤工岩教組委員長）は10月11日、県人勸に向けた最終局面となる渡辺人事委員長との交渉を行い、大型八ガキ署名（1、471枚・9、690筆）と要請打電（5255通）に記された組合員の声と共に、前進回答を求めた。4年ぶりに月例給・一時金ともに引上げ勧告の見通しで、ガソリン価格の上昇を考慮した通勤手当の改定や会計年度任用職員の一時金を期末手当での支給に言及するなど、改善回答が示された。10月21日の県人勸を受け、確定闘争に移行する。



▲前進回答を求め交渉する地公共闘交渉団（右下は回答する渡辺人事委員長）

### 【月例給・一時金】

勧告日は10月21日を想定して調整中であるとし、月時金も国と同程度の較差が

例給は国の公民較差並みのプラス較差があること、一見込まれるとし、引上げ勧告の方向とした。

### 【会計年度任用職員の一時金】

国と同様、引き上げ分を勤め手当で配分する場合には、勤め手当が支給されない会計年度任用職員について、職員との均衡を考慮し、期末手当の支給に関して何らかの言及が必要であるとの考えを示した。交渉団から積極的な言及となるよう求めた。

### 【通勤手当】

ガソリン価格の上昇により職員の負担が相当程度増していることは理解している。これらの状況を考慮し、通勤手当の改定の必要についてどのように言及す

るか、委員会において最終的に判断したいとし、改善の方向性を示した。  
【高齢層職員の処遇改善】再任用職員を含め高齢層職員の勤務意欲の維持確保が非常に重要であることは十分認識している。定年引上げに伴い、高齢層職員が65歳まで意欲を持って働くために休暇を含めた休業制度や必要な報酬について、定年年齢の段階的な引き上げ状況を踏まえながら総合的に判断していくとし、従来の考え方に留まった。

### 【労働環境の整備】

任命権者と直接意見交換する場を設け助言を行ってきた。今後も任命権者と課題認識を共有して、長時間労働の是正や労働安全衛生、ハラスメント対策など実効性が高まるよう継続して取り組みを行うとした。交渉団から実感できる改善につながるよう積極的な報

告・勧告となるよう求めた。

### 【闘争到達点と確定闘争に向けて】

月例給・一時金の改善勧告、会計年度任用職員の一時的な期末手当での支給に言及したこと、通勤手当の改善が見込まれる回答を引き出したことは大きな成果といえる。一方で、月例給について、国とほぼ同じ較差であることから、若年層中心の改定となることが見込まれ、高齢層職員の勤務意欲確保策など今後も継続する課題も多い。21日の県人勸を受けて、確定闘争に移行する。組合員の結集をお願いする。

## 自治労本部第56会定期大会

# 労働運動から組織拡大に全力を

## 来年の盛岡市議会議員選挙 組織内「野中やすし」必勝をめざす

10月1日、自治労本部第56回定期大会が開催され、県職労から代議員をはじめ17人が参加した。伊藤県本部執行委員長から「コロナも8月下旬から



▲団結ガバローで締めくくった県本部定期大会

減少しているが先がみえない中、冬に備え第8派に注視していく。県本部では現業企統一闘争をはじめ、春闘そして参議院選挙闘争に取り組んできた。また、この4年間の組織基盤強化計画において組織拡大、会計年度任用職員の組織化も進めてきた。この間の取り組みに感謝したい。これまでの闘いを丁寧総括し、反省を活かし、来年の統一自治体選挙などの次の取り組みにつなげていきたい」とあいさつ。



▲県職労現業評の取組を発言する菅原代議員

来賓に、自治労本部川本執行委員長が駆けつけ、激励の挨拶と、組合活動と政治闘争のつながりについて講演、その後、県本部政治連盟を代表し野中やすし事務局長（盛岡市議・県職労組織内）から挨拶を受けた。経過報告では、県本部青年部書記長に就任した須藤代議員（県職労）から県本部青年部運動を中心とした報告がされた。議事の部では、県本部及川書記長から運動方針、組織基盤強化計画案（組織討議）、県本部組合費の（県本部女性部長）さん、監査委員には口岩喜幸さんが信任された。最後に伊藤委員長の団結ガバローで意思統一し、1年間の運動前進に全力を挙げることを誓い合った。

10月に入り、食品や飲料・さらには外食チェーン店までも次々と値上がりしている。値上げラッシュにより家計に大打撃を受けている人も多いだろう。物価上昇の影響はいつまで続くのだろうか▼民間の信用調査会社「帝国データバンク」の調査によると食品や飲料だけでも6、500品以上が値上がりするという調査結果が出された。さらに家計への負担額を総務省の家計調査などをもとに調べたところ、2人以上の世帯では1か月あたり平均で5、730円増えると試算で出ているそうだ▼値上げは原材料価格の高騰や原油高、それに円安の影響が重なったためだと見られている。値上げの原因を私たちがどううけるわけではないが、支出を減らす対策として家計を見直すことはできる。特に値上げ幅が大きい光熱費は利用実態に合うプランに切替えたり、買い物等で貯めたポイントを活用して支出を減らすなどいろいろある▼原油高や物価高騰により通勤・住居経費の自己負担が非常に多くなっている状況であり、組合では私生活も充実させられるよう多くの組合員に働きやすい職場のため活動を継続していく。

## 第五世代

# 24時間の対応を求めるなら、 自宅待機も勤務時間でしょ!

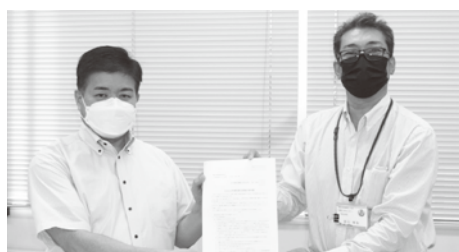
## 花巻支部で独自要求書提出・交渉

9月15日、37項目に及ぶ支部独自要求書を花巻総務センター石木田所長に提出し改善を求め交渉を行った。交渉では、花巻地区合同庁舎にエレベーターがなく、



▲庁舎環境等改善を求め交渉する花巻支部執行部 (奥)

障がいのある仲間や怪我をしている仲間が苦勞して階段を使用しているほか、来庁者や荷物の搬入ができないことから、エレベーターの設置を求めた。



▲要求書を手渡す前川花巻支部長 (右)

また、保健所職場では、コロナ感染症の相談や精神保健福祉法に基づく通報等を24時間受け付けており、勤務時間外は当番制で業務用携帯を持ち帰っているものの、通話対応の時間のみ超過勤務とされていることから、待機時間も含め賃金を支払うよう改善を求めた。保健所の仲間から、「夜中に数件、県民から電話がかかってきたが、その後眠れず、翌日は身体が辛かった」等の実態が報告されており、早急な改善が必要である。

石木田所長からは、10月14日までに回答をいただく予定とした。なお、花巻総務センターで回答できない項目に関しては、10月26日に予定している県南4支部合同交渉において県南広域振興局長交渉に要求していく。

## 秋の味覚を堪能

### 花巻支部青婦部で交流会を開催

9月24日、花巻市大迫町の「吉田ぶどう園」にて交流会を開催し、7人の組合員とその家族が参加し、和気あいあい、様々な種類のぶどうを味わった。参加者から「たくさん食べたい!」「ぶどう狩りは初めて。また交流会に参加したい」との感想が寄せられた。

交流会では、花巻支部の独自要求も共有し、公舎に冷房設置を求めていることを知った参加家族から「冷房がないなんて信じられない」と驚きの声が出された。



▲ぶどう狩りを楽しんだあと、参加者で記念撮影

新型コロナウイルスで自粛が続き、青婦部の交流の機会が少なかったが、今回のぶどう狩りをきっかけに、様々な交流の場を企画していきたい。

## 野中やすし 議会報告



野中やすし 靖志 市政クラブ

県職労の皆様におかれましては、日頃よりご指導とご支援を頂いていることに心より感謝申し上げます。さて、本年8月3日の新潟から東北北部を襲った集中豪雨は、甚大な被害をもたらしました。

その家は、床上50cmまで浸水し、1階の畳、布団、家具などが汚水に浸かりました。汚水に浸かった畳は、男性2人がかりで屋内に搬出しましたが、真夏の作業は、大変な重労働でした。家屋からの泥出しや一時に大量に出る廃棄物への対応など、多くの課題が浮き彫りとなりました。線状降水帯による被害は、今やどこでも起こります。先の9月議会では、災害ボランティアの確保や被災家屋の衛生対策などについて当局を質しました。今後も引き続き自治体の防災力強化について取り組んでまいります。

をお手伝いして来ました。その家は、床上50cmまで浸水し、1階の畳、布団、家具などが汚水に浸かりました。汚水に浸かった畳は、男性2人がかりで屋内に搬出しましたが、真夏の作業は、大変な重労働でした。家屋からの泥出しや一時に大量に出る廃棄物への対応など、多くの課題が浮き彫りとなりました。線状降水帯による被害は、今やどこでも起こります。先の9月議会では、災害ボランティアの確保や被災家屋の衛生対策などについて当局を質しました。今後も引き続き自治体の防災力強化について取り組んでまいります。

お話を伺って来ました。その家は、床上50cmまで浸水し、1階の畳、布団、家具などが汚水に浸かりました。汚水に浸かった畳は、男性2人がかりで屋内に搬出しましたが、真夏の作業は、大変な重労働でした。家屋からの泥出しや一時に大量に出る廃棄物への対応など、多くの課題が浮き彫りとなりました。線状降水帯による被害は、今やどこでも起こります。先の9月議会では、災害ボランティアの確保や被災家屋の衛生対策などについて当局を質しました。今後も引き続き自治体の防災力強化について取り組んでまいります。



▲新潟県村上市の被害家屋での復旧作業の様子

## 組合員に寄り添う支部活動を

### 久慈支部で定期大会を開催



▲欠員解消、加入促進などについて確認した久慈支部定期大会

久慈支部は10月6日、定期大会を開催した。大会では、定期人事異動後の異動等による欠員の早期解消、加入促進への取り組み、職場に応じた会計年度任用職員を配置させるための取り組みなどを確認した。また、組合員の声を局長や経営企画部長に直接届けることができる支部独自交渉では、二戸支部と合同

盛岡支部は9月29日、2022年度の支部役員選挙結果を公示した。立候補者全員が信任され新体制を確立した。支部長には長沼英友さん(盛岡広域振興局土木部分)が選出された。



長沼 英友 (土木部)

## 盛岡支部が22体制を確立

### 支部長に長沼英友さんを再選

役員・氏名は次のとおり。

【盛岡支部】

支部長

長沼 英友 (土木部)



傾け、寄り添えるような活動や取組みを進めていく。

- 副支部長 千葉美由喜 (高麗産産科)
- 石館 勝好 (産科)
- 書記長 佐藤 力也 (農村整備室)
- 書記次長 鈴木 浩一 (県税部)
- 執行委員 藤澤 牧人 (中央産産科)
- 豊間根正明 (産産部)
- 小田嶋世房 (土木部)
- 遠藤 歩美 (農政部)
- 西澤 順史 (畜産部)
- 藤澤 侑宏 (県税部)
- 寺村 保 (林務部)
- 門脇 日和 (産産部)
- 島 晴香 (産産部)
- 谷地館 透 (畜産研究所)
- 会計監事 藤澤 潤一 (県税部)
- 岩脇湯芽芽 (総務センター)

## 車検は安心・信頼の こくみん共済 Coop の指定整備工場を



### うれしい2つの特典

こくみん共済 coop の指定整備工場では、車検の際に入庫していただいた組合員の皆さまに、下記のサービスを実施しています。

**特典1** 車検・法定点検が15%割引!  
車検をはじめ、とくく出費がかさむ愛車の維持費。こくみん共済 coop の指定整備工場では、正規車検整備・法定点検・一般修理のうち整備技術料を15%割引します(ただし、工場独自で設定している特別割引車検は除く)。\*車検にかかる法定費用(割引対象外)は、事前にご準備ください。

**特典2** 車検のオイル代無料!  
より長く愛車とつきあうためには、こまめな整備が必要です。車検入庫していただいた組合員さまには、車検時のオイル代・オイル交換工賃を無料とさせていただきます。ただし、使用するオイルは工場指定のものとし、4リットルまでとさせていただきます。指定以外のオイル、または4リットルを超える場合は追加料金が発生する場合があります。

「指定整備工場ご利用方法等の確認」は各支部書記局までご連絡ください。